

久之浜防災緑地ワークショップ

かわらばん 第1号

平成 25 年5月19日(日)に、いわき市久之浜・大久支所にて「第1回久之浜地区防災緑地ワークショップ」が開催されました。

第1回のテーマは「防災緑地を知ろう」と題し、福島県より防災緑地の計画説明がされた後、東北芸術工科大学の廣瀬先生の講話や、実寸大模型の現地の確認を通じて防災緑地に対する理解を深めました。後半は5つのテーブルに分かれ、意見交換を行い、「防災緑地への思い」や「防災緑地でやりたいこと」について話し合いました。19名の住民の方が出席され、熱い思いを語り合い、とても中身の濃いワークショップとなりました。その様子をお伝えします！

当日の流れ

①計画の説明



ワークショップでの話し合いを進める前に、参加者の皆さんに正確に防災緑地のことを知っていただくため、県より防災緑地の役割や計画の概要などについて説明がありました。

防災緑地は津波の減衰や漂流物の捕捉を目的としたものですが、地域活動の場や景観・環境再生としての意味も併せ持っており、本ワークショップの成果が設計に反映されます。平成27年度に防災緑地が完成予定ということで、皆さん真剣に話を聞かれていました。

②先生の講話



東北芸術工科大学の廣瀬先生より、「風土から防災緑地を考える」について講話がありました。磐城七浜の塩除松や能代海岸の砂防林「風の松原」の事例紹介では松林の役割を学び、広村堤防の事例紹介では地域の暮らしの中に馴染んだ防災緑地のイメージが写真を交えて紹介されました。久之浜の防災緑地を考える上で、とても参考になるお話でした。

③実寸大模型・現地の確認



参加者の皆さんと一緒に現地へ行き、海岸堤防や防災緑地の実寸大模型を見て防災緑地のイメージを膨らませました。

樹木医の木田先生より地域の植生について説明があった後、グループ単位で歩きながら震災後も残った樹木や稲荷神社を見学し、津波が起こった時の状況や防災緑地に対する思いなどを話しました。

④意見交換



各グループに分かれて震災当時の様子や防災緑地に対する思い、欲しい施設、留意したいこと等について意見交換を行い、一つのシートに意見をまとめていきました。どのグループも白熱した議論を交わし、会場内は熱気がムンムンしていました。最後に、各グループの代表者が発表を行い、グループ内で話し合った内容について全体で情報共有を図りました。結果の概要は右に示したとおりです。

各グループの主な意見と、意見交換・全体発表の様子

Aグループ

【全体テーマ】震災の記憶を次世代に伝える、復興コミュニティの再生
 【河川沿い広場】新しい住民との交流の場、桜の植栽
 【海岸沿い緑地】散策路、自転車道、塩害に強い樹種の密植、殿上山への視界確保
 【神社】周りより高くする、移設



Bグループ

【全体テーマ】東日本大震災と同じ被害を出さない、100年に1度の災害より99年の日常利用を大切に考える
 【河川沿い広場】ゲートボール場、仮設住宅の保存、震災の写真展示、津波警告碑
 【海岸沿い緑地】四阿、混交林
 【その他】防災緑地・被害想定の情報公開



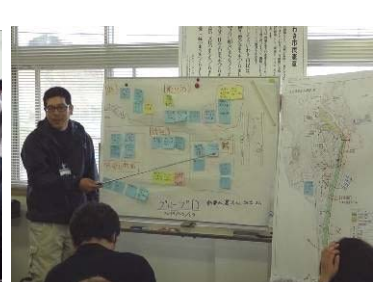
Cグループ

【全体テーマ】3.11のメモリアル、未来へのシンボルとなる森、協働の森づくり
 【河川沿い広場】バーベキュー場、トイレ
 【海岸沿い緑地】海辺の散策路、砂浜への動線、街灯、誘導灯、海のある暮らしの表現、町の道筋の復元、多様な海岸植物
 【神社】記念碑の建立、今ある場所に保存



Dグループ

【全体テーマ】安全安心を大切に地域の生活・文化・歴史を伝える、住民の帰還
 【河川沿い広場】グラウンドゴルフ場、ゲートボール場
 【海岸沿い緑地】散策路、自転車道、防犯灯、神輿が通る海への動線、盆送りができる海側の平場、キャンプ場、街側の平場、防風林、ハマヒルガオ等変化のある植栽
 【神社】神社から海が見えるよう保存



Eグループ

【全体テーマ】震災の伝承、鎮魂の森、地域文化・日常の維持
 【河川沿い広場】多目的広場、ゲートボール場、買い物の休憩所、コミュニティの場
 【海岸沿い緑地】海が見える散策路、海への動線、花供養・禊を続ける場、クロマツの混交林、ハマエンドウ、地域の管理
 【神社】震災メモリアル、定位置での保存



【事務局より】

ご参加頂いた皆様
 ありがとうございました！
 熱い思いを共有できて、とても有意義な
 ワークショップになりました。
 次回もよろしくお祈りします。

【お問い合わせ先】

福島県いわき建設事務所
 担当：橋本、菅野
 電話番号：0246-35-6075

<うら面もご覧ください>

■久之浜地区での防災緑地ワークショップについて



本ワークショップは、福島県いわき建設事務所が、久之浜地区の防災緑地整備にあたり、上位計画等との整合のほか、地域の方々の考えや思いを設計に反映させていくために開催しています。今年度進められている防災緑地の詳細設計への反映を図っていきます。

久之浜地区の住民の方にメンバーとしてご参加いただき、以下のような内容で開催します。

🌿 ワークショップの目的は？

本ワークショップは、以下のようなテーマと目的（狙い）で進めています。

◆ワークショップのテーマ

『久之浜地区防災緑地ワークショップ』
～地域を守り、地域に愛される防災緑地を考えよう！～



◆ワークショップの目的

- ・地域が必要とする緑地、地域に大切にされる緑地、地域の特色を生かした緑地となるよう、地域の課題、関心、ニーズを掘り起こし、防災緑地づくりに反映する。
- ・地域住民と行政が防災緑地の必要性、意義、役割を共有する。
- ・地域住民が防災緑地づくりに参画することにより、地域と行政が協働・協力して、防災緑地を守り育てる関係を構築する。

🌿 ワークショップって何？

参加されている地域の方々の思いや意見をきちんと把握し、合意形成を図るための手法です。

「ワークショップ」とは

もともとの意味は「作業場」「工房」などですが、たくさんの方がものづくりを行う場、というイメージです。ここから「参加したメンバーが協働体験を通じて何かを創り出した学んだりする場」を意味しています。

ワークショップでは、参加者がグループ別や全体で共通のテーマについて対話をし、お互いを理解し合い、新たなアイデアや解決策などを導き出していきます。



🌿 どうやって進んでいくの？

以下の運営計画を進めています。この内容はワークショップの状況で必要な見直しをしながら柔軟に進めていきます。

※今回の表面の「かわらばん」は、第1回の開催結果の内容です。

回	場所・時間帯	テーマ	内容	成果
1	久之浜・大久支所 5/19(日) 13時半～16時半	「防災緑地を知ろう」 -発議と課題抽出 ・「防災緑地」ってどういうもの？ ・どうやって計画を決めていくの？ ・防災緑地を通して地域の課題を考える 防災、風、飛砂・飛塩、風習、生活、海との関係 【勉強会①】 ★東北芸術工科大学 廣瀬先生講話 「風土から防災緑地を考える」 【現地見学】 ・計画地及び実寸大模型の確認 ※雨天時：スライドによる現地状況説明	・WS運営計画説明 ・防災緑地説明 ・計画地の説明 ・勉強会 ・現地見学（雨天：スライド） ・グループ意見交換（感じたこと、地域への思い等） ・発表とまとめ	現地や防災緑地への理解 地域住民の方々の防災緑地への思い・関心の掘り出し 地域住民の方同士の相互理解、視野の広がり
2	久之浜・大久支所 5/25(土) 13時半～16時	「防災緑地のイメージを考えよう」 -必要機能の落とし込み ・前回は振り返り、皆さんの思いを確認 ・防災緑地に必要な役割や機能は？ ・どんな使い方ができるといい？ 【勉強会②】 ★樹木医 木田さん講話 「久之浜地区の身近な樹木について」	・前回のおさらい ・勉強会 ・グループ意見交換（必要な役割、機能、使い方） ・発表とまとめ	防災緑地に必要な役割・機能の抽出 防災緑地のイメージ、方向性 機能の平面位置への落とし込み
3	久之浜・大久支所（予定） 6/22(土) 13時半～16時	「防災緑地のイメージを固めよう」 -比較案の検討 ・前回のイメージ・方向性の振り返り ・前回の方向性を踏まえたゾーニング案・比較案（県作成）に対する意見、要望	・前回のおさらい ・グループ意見交換（比較案への意見） ・発表とまとめ	比較案に対する意見・要望 選定方針への理解 植栽の選定方針
4	場所未定 7月中旬	「防災緑地の最終案を確認しよう」 ・最終案の確認（計画案・イメージスケッチ提示） ・整備後の利活用と管理の年間計画案についての意見交換 ・最終案を現地で確認（必要に応じて）	・前回のおさらい ・現地確認（必要に応じて） ・グループ意見交換（最終案、今後の利用や管理方法） ・発表とまとめ	最終案決定 最終案への理解 利活用管理年間計画案

★毎回、ワークショップの終了後に「久之浜防災緑地かわらばん」を発行し、各回の開催結果概要を、地域のみなさまへご報告していきます！！

5月25日に開催された第2回ワークショップの様子は近日中に第2号でお伝えします。

